



KONICA MINOLTA

News Release

印刷工程の自動化でオペレーションを効率化させる デジタル印刷システム「AccurioPress C14000/C12000」 ～初のヘビープロダクションプリント機でハイボリューム領域へ進出～

2020年6月9日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、デジタル印刷システムのカラー最上位機種「AccurioPress（アキュリオ プレス）C14000」と「AccurioPress C12000」（2機種合わせて、以下「AccurioPress C14000シリーズ」）を2020年6月17日に発売予定です。

「AccurioPress C14000シリーズ」は、コニカミノルタ初のヘビープロダクションプリント（HPP）機^{※1}で、本機の投入によりハイボリューム領域へ進出するとともに、プロダクションプリント市場へ提供する価値を拡大することでデジタル印刷業界の発展に貢献していきます。

発売に先駆け、本日から7月8日まで新製品発表特設サイトを公開いたします。昨今の社会状況を鑑み、また、より広く遠隔地の方にもご参加いただきたいとの思いから、今回はリアルイベントに代えて、オンラインで新製品発表会を行うことにいたしました。

特設サイト <https://www.konicaminolta.jp/pr/accuriopress-SP/>



「AccurioPress C14000シリーズ」は、出力解像度2400dpiで毎分A4サイズ140ページ^{※2}、A3サイズ80ページ^{※2}という高速出力と、他社に先駆けた出力調整や紙面検査の自動化技術、最適な印刷設定を推奨するメディアセンサーにより、ハイボリューム領域でも他に例を見ないオペレーションの効率化を実現しています。これにより、印刷現場におけるタイムロスを最小化させるだけでなく、オペレーターの専門スキルを不要とし、印刷事業者が採用できる人材の幅を広げます。

【 「AccurioPress C14000シリーズ」 が提供する価値 】

1. 印刷作業工程の自動化で省力化とスキルレスを提供

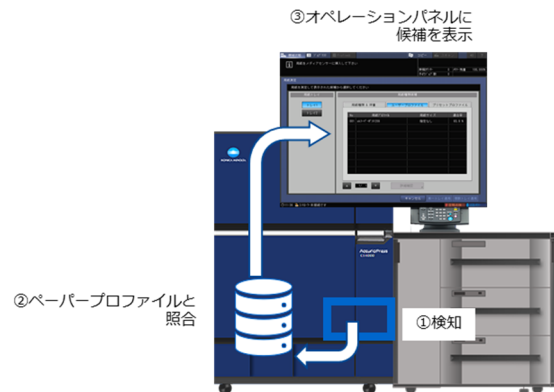
今回、オペレーション効率化のために3つの最新テクノロジーを自動品質最適化ユニット「インテリジェントクオリティ・オブティマイザー（IQ -501）^{※3}」に融合させ、印刷オペレーションを簡便化しました。

◆新開発のインラインメディアセンサーシステム

テクノロジーの1つめは、「インラインメディアセンサーシステム」です。これは、オペレーターが印刷に使用する用紙を設定したい場合に、紙を一枚通すことにより自動的に用紙の重さと種類を判定するシステムです。メディアセンサーが用紙の特徴を読み取り、AIにより用紙の厚みと種類の自動判定を行うことで、用紙設定の候補を表示します。

また、標準搭載された約300種類の用紙プロフィールから候補を提案し、最適な設定を選択する機能も備えており、簡単に高品質な印刷物を作成できます。

これらの機能によって操作が簡単になり、設定時間が短縮されるだけでなく、新人オペレーターへの専門的なトレーニングも不要になります。



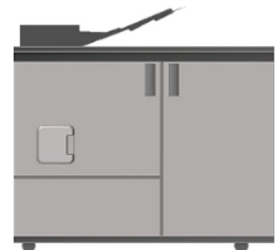
◆紙面検査システムの強化と新規カラーマネジメント

2つめは、紙面検査システムです。汚れやスジ、さらにバリアブルデータ印刷での不整合といった不適合品を、インラインで自動検出して排出するだけでなく、不適合品が発生した場合のリカバリー印刷まで実行します。これにより、検品作業の負荷を低減、生産性向上に貢献します。

また、新規カラーマネジメントシステム「AccurioPro ColorManager」との連携により色調整・管理も簡易な操作で行うことができます。

◆業界初インライントリマーシステム

3つめとして、業界初となる「インライントリマーシステム(TU-510)」を開発し、4方断裁、名刺やカードの複数カッティング処理、折り目などのインライン処理を実現しました。これにより、名刺、カード、チケット、両面パンフレット、フルブリードポスター※4などの後加工がインラインかつワンパス自動処理で可能となり、従来のオフラインの後加工機によるマニュアル作業と比較して、大幅な時間削減を実現します。



コニカミノルタは、「AccurioPress C14000シリーズ」で、ヘビープロダクションプリント機における1日の生産性を大きく向上させます。印刷工程の作業時間と手間の削減により、印刷事業者が顧客である印刷発注者への新たなビジネス提案の時間を生み出し、印刷事業者と印刷発注者のビジネス拡大に貢献します。

2. 顧客のビジネス拡大に寄与するメディア対応力

エンボス紙など幅広いメディアへの対応力を向上させ、名刺や招待状などの印刷において要求される高い質感や表現力の拡大を実現させました。さらに、長尺紙への自動両面印刷が従来機種よりも18%長い900mmまで可能となり、観音開きになっているA4サイズのパンフレットの印刷と折りも、ワンパスで効率的に行えます。



本機は、クライアントの期待に応える美しい仕上がりを実現し、小ロット、短納期、オンデマンドというデジタル印刷の良さを活かすことで、クライアントへのより幅広い提案を可能とさせ、印刷事業者のビジネス拡大に貢献します。

【 「AccurioPress C14000シリーズ」 の主な仕様 】

		AccurioPress C14000	AccurioPress C12000
生産性	A4サイズ	140 ページ/分	120 ページ/分
	A3サイズ	80 ページ/分	69 ページ/分
出力解像度		3,600dpi相当x2,400 dpi	
用紙対応力	対应用紙坪量	52~450g/m ²	
	長尺紙印刷	1,300mm (片面印刷)、 900mm (自動両面印刷)	
調整自動化		インテリジェントクオリティーオプティマイザー標準搭載 色調と表裏見当の自動補正、及びリアルタイム監視・調整、自動検品	
本体サイズ		W1,191×D932×H1,620 mm (操作部含まず)	
本体質量		560kg	

【 本体標準価格 】

AccurioPress C14000	4,600万円 (税別)
AccurioPress C12000	3,800万円 (税別)

※各種ユニット、オプション、設置料金は、別料金となります。

【 お客様のお問い合わせ先 】

コニカミノルタジャパン株式会社 お客様相談室 TEL:0120-805-039

■商業・産業印刷事業について

コニカミノルタは、2014年の「bizhub(ビズハブ) PRESS C1100」の発売によりミッドプロダクション※¹領域に本格参入し、高い出力画像品質に加え、連続印刷での正確な色再現と高い色安定性により、多くの支持を獲得してきました。また、印刷会社の課題を解決しビジネスと収益の拡大に貢献したいという考えのもと、2016年5月にはB2インクジェットデジタル印刷機「AccurioJet KM-1」の発売、同時に商業・産業印刷向けの新ブランド「Accurio」を立ち上げました。

近年の印刷業界では、即時性に対応できるオンデマンド印刷での販促物、ラベル、パッケージなどをデジタルマーケティングとともにトータルソリューションとして提案する動きが加速しています。これに対してコニカミノルタは、箔押しなどをデジタルで行う加飾印刷機や、オンデマンドラベルプリンター「AccurioLabel 230」などもラインアップに加え、総合的に幅広い商品・サービスを提供しています。

この度の「AccurioPress C14000シリーズ」は、商業印刷におけるデジタル印刷の拡大を進めているコニカミノルタのフラッグシップ機として、印刷生産現場を質と量の両面から支援し、そこで求められる生産コストの改善、提供印刷サービスの拡大に貢献します。

- ※1：プロダクションプリント(デジタル印刷機を使用するオンデマンド印刷)の中でも、印刷速度でクラスが分かれており、目安として、ヘビープロダクションプリント(HPP)が毎分120枚以上、ミッドプロダクションプリント(MPP)が毎分90枚～120枚、ライトプロダクションプリント(LPP)が毎分80枚程度以下の領域。
- ※2：「AccurioPress C12000」は、出力解像度2400dpiで毎分A4サイズ120ページ、A3サイズ69ページ。
- ※3：印刷現場で手間と専門性が必要な、色や濃度・見当位置の調整、人的操作ミス・ロスによる廃棄や仕事のやり直しなどを、独自の技術で自動化したユニット。

https://www.konicaminolta.jp/business/products/graphic/ondemand_print/iq-501/index.html

- ※4：印刷後に四方の枠を裁ち落として作成するポスター

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 TEL：03-6250-2100
担当：北陽子 070-3669-8853(在宅勤務)